

特定非営利活動法人ほっぷの森 2020年度 事業報告（総括）

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のために大きな変化を余儀なくされました。

良くも悪くもコロナ感染症の影響は私たちの活動に影響を与えました。感染症拡大の恐怖の中、スタッフもパートナーも自分たちの活動をコントロールしながら一般就労に向けて着実に成果を上げて参りました。

「就労支援センターほっぷ」「ほっぷの木」「ほっぷの実」「びすた〜りフードマーケット」は大きな影響を受けながらも着実に活動を続けております。

そして新たに開設した「びすた〜り榴岡」は、長町の「びすた〜り」からのお客様のご支援もあり、順調に業績を上げています。

東口の「オリーブ」はいまだに営業を再開できませんが、再開に向けて着々と準備を進めております。

しかしながら今回のコロナ拡大のもとで新たな能力の獲得の必要が感じられました。

過去10年以上にわたって続けてきた私たちの活動がこのままで良いのか大きな課題を突きつけられているような思いです。

福祉サービス事業というある意味狭い領域での活動がより分かりやすく外に向かって開かれていないと今後の事業の展開の方向性が見出せないという所にきているような気がします。

多くの皆様がこのような状況の中で私たちに求めるものはなんでしょうか？

私たちがこれまで築いてきた成果の中に新たな意味を見いだすことができるようパートナー、役員一同従来の価値観にとらわれずに各事業所の新たな価値と意味に向かって努力を重ねていきたいと考えております。

今後とも暖かいご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

特定非営利活動法人ほっぷの森

理事長 白木 福次郎

2020 年度 就労支援センターほっぷ事業報告

はじめに

2020 年、新型コロナウイルス感染症の影響がどれだけの物か想像も出来ないまま、不安の中でのスタートの年となった。

通常の活動が制限され、人数を調整しながら、午前と午後の活動グループに分かれ、不安な方やその方の状況に応じて在宅支援サービスの利用をしていただいた。

在宅支援サービスは、初めての取り組みであったが、他事業所との情報交換をしながら皆で形を作り大きな混乱もなく実施出来た。中でも、普段からスタッフの特性を把握しながらプログラムをおこなっていることもあり、内容を活かしながら課題の提供がスムーズできた。

コロナの影響で、まだ活動の制限や実施出来ないこともあるが、反面、オンラインの活用や支援方法の見直し働き方の検討等、様々な気付きや取り組みをする機会になったことをプラスに考えていくことが新たな発想や柔軟な対応が出来る力になるのではないかと思う 1 年であった。

1. 利用者の推移と状況（カッコ内は、2019 年度状況）

* 別紙「年間実施事業報告」参照

2020 年度の月利用者数は 14 名から 22 名で推移(16~23 名)。月平均利用者数は 18 名(19.2 名)。出席率は月 74.2%~88.6%(75.6%~86.2%)。平均 82.5%(78%)。年間の利用者総数は 4343 名。活動稼働日数は 257 日であった。

新規利用者 12 名(15 名)。うち高次脳機能障害 9 名(13 名)、精神疾患 2 名*再利用者(1 名)、発達障害 1 名(0 名)、知的障害 0 名(1 名)。他に、直 B に伴う就労アセスメント利用として、小松島支援学校の生徒 2 名と入所施設の方 1 名の受け入れを実施した。

紹介元については、病院が 4 名、障害者福祉センター(自立訓練)が 2 名、能力開発校の委託訓練終了生が 2 名、相談支援事業所が 1 名、就労したものの離職となった方の再利用者が 2 名、ご家族からの問い合わせが 1 名となっている。

移行支援事業の基本的な利用期間は 2 年間であるが、コロナウイルスの影響から就職活動の影響が出ていることから、利用延長申請ができ、2 名の方の 3 ヶ月の利用延長申請を行った。

終了者に関しては、13 名(16 名)が利用終了。内訳は、一般企業への就労は 7 名(7 名)、

復職4名(4名)。A型事業への就労は2名(2)。一般企業へ就労した方で、2名が6ヶ月以内の離職となったが、フォローアップをしていく中で、新たな課題も見られたため、相談をし、ほっぶの再利用となっている。

就職活動に関しては、合同面接会の中止や企業見学、実習の実施が難しいなど、限られた利用期間の中で就労先が見つかるのだろうかという不安な中でも、13名の方の就労できた。

利用終了者13名に対して、新規利用者12名。出席率は80%と昨年を上回り、目標を達成はできたが、新規利用者数の達成には至らなかった。

医療機関や自立訓練、相談機関との連携をしながら、丁寧に対応していくことで、高次脳機能障害の方の利用のニーズは高まってきている。他の障害の方に関しては、新規利用につながることは少ないが、取り組みを見て頂きながら、その方の目的・目標等に合わせた利用の仕方の相談はできた。

2. プログラムの取り組み状況

*別紙「年間実施事業報告」及び回覧「各プログラム事業報告書」参照

全員、グループ、個別で各プログラムを実施。利用時の個々の状況や症状、働き方の希望等は違うが、各プログラムに他者と取り組みながら、ご本人が症状への気付きや必要なトレーニングを知ることから、状況の把握や取り組み方の検討につながる事が出来た。また、個別支援計画の内容を共有しながら、就労に向けて、目標を意識しながら取り組んだ。コロナウイルスの影響で、プログラムの内容や進め方の検討が必要な物もあったが、出来るだけ工夫をしながら実施した。その中でも健康プログラムとして、身体を動かす機会をできるだけ作れるように、仙台市健康増進センターへ依頼し、リモートでのプログラムを実施して頂いた。

2019年度まで行っていた「脳と身体エクササイズ」としてのプログラムは「作業と身体」に変更し、ブレインジムに関しては、始めのミーティングの中で『PACE』は継続して実施。オンラインセミナーにて『ブレインジムの理論と支援』をプログラムの中で受講し、意味ややり方の確認を実施した。

月に1~2回、土曜日にフリープログラム活動日として開所した。年間計16回実施。活動参加者は合計69名であった。1回当たり2~7名。参加者は多くはないが、自分で取り組みたいことを決めることで、時間を有効に使いながら取り組んでいた。

外部講師の方によるプログラムとして、文章理解、コミュニケーションII、リズム体操、

沖縄空手、模擬面接練習、パソコン講習等は継続して実施。コロナウイルスの影響で栄養管理講座と音楽プログラムは1回のみの実施。純碁に関しては実施できなかった。

3. 就労に向けての活動状況

*別紙「年間実施事業報告」及び回覧「各プログラム事業報告書」参照

就労に向けての活動は、合同面接会の中止や企業見学、実習の受け入れが難しいなど、2年という限られた利用期間の中で就労先が見つかるだろうかの不安もあった。そんな中でも、13名が就労した。

ほっぷ内では、ハローワークインターネットサービスを活用し、求人検索を実施。その場で求人票の見方や会社情報、仕事内容を一緒に確認することで、ご本人の希望や応募先の検討、確認事項等の支援をすることで、ハローワーク活動もスムーズとなった。

集団(グループ)での企業見学はコロナウイルスの影響で難しかったが、個別ではハローワークの求人票からの企業や仙台市就労支援センターが間に入っている企業への応募前見学に積極的に参加した。

企業説明会やセミナーに関しても、オンライン開催が増えたことで、プログラムとして参加し、希望しない職種であっても雇用のしかたや配慮事項の伝え方等を学ぶ機会ともなった。

実習に関しては、今年度も「宮城県障害者ビジネスアシスタント事業」に3名の方が取り組んだ。3名とも受障後、初の実践となり、出来る事の確認や自信につながる有意義な実習となり、3名ともに一般企業への就労に繋がることのできた。

復職の方に関しては、会社での事前実習に取り組む事で会社側にご本人の状況を把握して頂くのと、復職後の仕事を想定できる機会となった。

4. 利用終了後のフォローアップ

*別紙「年間実施事業報告」参照

2020年4月から2021年3月までの就労者で、一般企業へ就労・復職した11名中2名が離職。1名は職場への支援介入が難しく、ご本人への支援はしていたが、仕事への定着が難しく6ヶ月の契約更新に至らず退職。1名は自分から新たな仕事を希望し約1ヵ月で離職、求人誌から一般就労するものの仕事内容が難しくなりこも約1ヵ月で離職。2名ともに相談をし、ほっぷの再利用となった。

就労(復職)が決まった際に、今後のフォローアップ、就労定着支援事業について説明をし、支援の継続を実施。就労6ヶ月を経過した5名の方が、就労定着支援事業である『就

労定着支援センターほっぷの実』へのサービスの利用開始となった。

先輩会は年4回の予定であったが、コロナウイルスの状況を見ながら、7月に平日(先輩6名参加)と土曜日(26名)と2回に分けて実施。平日の参加者が限られてくるので、2回目は10月(21名)と11月(17名)の2回に分けて(いずれも土曜日)実施した。参加先輩合計70名。

人数を調整しながら、グループに分かれてトークする形で実施。トーク内容は各グループ発表してもらうことで、全体で情報を共有した。コロナウイルス対策として、発表のしかたや写真はグループごとにし、昼食交流会は行わず解散とするなどして実施した。

就労している先輩対象の「先輩新年会」はコロナウイルスの影響で実施しなかった。

5. 家族支援

6月に家族交流会を実施予定であったが、コロナウイルスの影響もあり計画しなかった。随時、個別での相談を実施。また、相談支援事業所との情報共有をしながら、支援を実施した。

6. 他機関との連携と研修実績

*別紙「年間実施事業報告」参照

宮城障害者能力開発校委託訓練を前期と後期で募集するも、前期への申込者がおらず、後期1名の申し込み(他の移行支援事業所を利用中の方)で実施。ハローワークからの申し込みはおらず、周知のしかたに関しては、今後の課題である。

どんまいネットみやぎとの連携でのケアカンファレンスに関しては、コロナウイルスの影響もあり開催が見送られた。

インターンシップ、ボランティア、研修や見学の受け入れに関しては、コロナウイルスの状況から慎重に検討をしながら、仙台ボランティアセンターから1名、宮城学院女子大学から5名を受け入れた。

コロナウイルス感染拡大の影響で、他機関との交流や会議に制限はあったが、状況を見ながら参加し、情報交換や交流を図った。また、研修に関しても開催されたものには参加し、スキルアップに努めた。

就労支援センターほっぷ
管理者 平山昭江

2020年度(令和2年度) 就労支援センターほっぷ 年間実施事業報告

2021

2020	令和2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和3年1月	2月	3月
利用終了者状況 終了日 →終了後状況 終了者(13名) ・一般就労:7名 ・復職:4名 ・A型:2名	4/10終→一般就労 ・4/13~日本郵便中央郵便局 4/30終→復職 ・5/7~ホーチキ		6/5終→復職 ・6/16~(株)HI 6/5終→一般就労 ・6/8~仙台医療センター 6/30終→復職 ・7/1~トヨタカローラ宮城				10/30終→一般就労 ・11/2~日清医療食品			*12/31終了予定1名 →3/31まで利用延長	*1/31終了予定1名 →4/30まで利用延長	3/12終→一般就労 ・3/15~東北大学 3/12終→A型事業所 ・3/15~ヒカリノミチ 3/16終→A型事業所 ・3/22~ヒカリノミチ 3/31終→復職 ・4/1~石巻市役所 3/31終→一般就労 ・4/1~仙台南高校 ・4/16~鴻池メディカル
新規利用者数 紹介元 →利用開始日 (12名)	1名 ・6日~宮城野障害者福祉センター		1名 ・15日~どんまいネットみやぎ	1名 ・28日~仙台リハビリテーション病院	2名 ・17日~直接(能開校委託訓練) ・25日~仙台リハビリテーション病院	1名 ・7日~直接(ご家族)	2名 ・5日~直接(再利用者) ・7日~仙台リハビリテーション病院 *就労アセスメント1名	*就労アセスメント1名	1名 ・2日~東北大学病院病院 *就労アセスメント1名	*就労アセスメント1名	2名 ・15日~どんまいネットみやぎ ・18日~能開校委託訓練修了生	1名 ・2日~泉障害者福祉センター
利用数 出席率(平均者数)	17名→18名→17名 84.8%(14.6名)	16名 81.3%(13.0名)	16名→14名→15名 82.1%(12.3名)	14名→15名 78.5%(11.1名)	15名→17名 82.2%(13.1名)	17名→18名 74.2%(13.2名)	18名→20名 81.1%(16名)	19名 84.5%(16.1名)	19名→20名 81.2%(16.2名)	20名 83.4%(16.7名)	20名→22名 88.6%(18.2名)	21名→22名→20名→19名 85.3%(17.3名)
月利用者総数	369名	288名	335名	230名	294名	361名	437名	366名	416名	395名	380名	472名
月稼働日数	22日	18日	23日	22日	20日	22日	23日	20日	22日	21日	20日	24日
見学者者数 (紹介元)	0	2名 ・仙台リハビリテーション病院 ・どんまいネットみやぎ	2名 ・仙台リハビリテーション病院 ・宮城障害者職業センター	2名 ・直接(ご家族) ・東北医科薬科大学病院	2名 ・仙台リハビリテーション病院 ・太白障害者福祉センター	1名 ・シルバー人材センター	4名 ・泉障害者福祉センター ・東北大学病院 ・東北医科薬科大学病院 ・どんまいネットみやぎ ・直接(ハンドブック)	3名 ・直接(ハンドブック) ・東北医科薬科大学病院 ・太白障害者福祉センター	1名 ・仙台リハビリテーション病院	0	2名 ・いずみの杜診療所 ・はあとぼーと	1名 ・直接(再利用者)
体験利用者数 (紹介元)	0	0	2名 ・どんまいネットみやぎ ・仙台リハビリテーション病院	2名 ・仙台リハビリテーション病院 ・宮城障害者職業センター	4名 ・直接(能開校委託訓練) ・直接(ご家族) ・仙台リハビリテーション病院 ・東北医科薬科大学病院	1名 ・仙台リハビリテーション病院	0	1名 ・東北大学病院	3名 ・東北大学病院 ・仙台リハビリテーション病院 ・東北医科薬科大学病院	1名 ・泉障害者福祉センター	0	2名 ・いずみの杜診療所 ・直接(再利用者)
合同面接会	21日(アエル)→中止					中止						15~25日間の6日実施 (ハローワーク仙台)
模擬面接	15日						26日					
セミナー・講習会 企業講話										・障害者雇用アシストセミナー(オンライン)16名参加		・雇用促進セミナー(オンライン)17名参加
企業訪問			・デジタルハーツプラス(オンライン企業説明会)→2名参加							・せんだい男女共同参画財団3名参加	・みやぎ生協(オンライン説明会)16名参加	
個別企業訪問				・東北構造社 ・プレデンシャル生命	・宮城大学 ・ほっとファーム(A型)	・南部アーチル ・日鉄鉱業		・S×N(A型)	・国見はげみホーム ・あるく ・HERLLOS北仙台、未来工房北四番丁、ほっとファーム(A型)→応募せず	・TTK	・東北地方整備局 ・東北財務局 ・ヒカリノミチ(A型)	・エイジェックフレンドリー ・ヒカリノミチ、パレスト(A型)
企業(職場)実習 一経過	・エム・アイ・シー ・トヨタカローラ宮城	・エム・アイ・シー	・エム・アイ・シー ・トヨタカローラ宮城→復職	・エム・アイ・シー	・エム・アイ・シー	・エム・アイ・シー ・日鉄鉱業→応募せず	・エム・アイ・シー	・エム・アイ・シー→復職せず ・石巻市役所 ・S×N(A型)→応募せず	・石巻市役所 ・国見はげみホーム→不採用	・石巻市役所 ・HELLOS北仙台、未来工房北四番丁、ほっとファーム(A型)→応募せず	・石巻市役所 ・ヒカリノミチ(A型)→採用 ・S×N(A型)→応募せず	・石巻市役所→復職 ・鴻池メディカル→採用 ・ヒカリノミチ(A型)→採用 ・未来工房仙台(A型)→応募せず
体験実習先 (体験者数)							・仙台市体育館	・宮城県庁ビジネスアシスタント実習	・宮城県庁ビジネスアシスタント実習 ・仙台市体育館	・宮城県庁ビジネスアシスタント実習 ・仙台市体育館	・宮城県庁ビジネスアシスタント実習 ・仙台市体育館	
法人内実習									・JhoJho			
ハローワーク活動	随時必要時に活動											
先輩会				8日(6名参加) 11日(26名参加) 就労者(一般・A型)対象			17日(21名参加) 就労者(一般・A型)対象	28日(17名参加) 就労者(一般・A型)対象				
プログラム	グループミーティング(始めのミーティング・終わりのミーティング)、セルフトレーニング											
(毎日実施)	Bトレ、就職に向けて、メモリーノート、文章理解、文章表現、脳と身体のエクササイズ、スポーツコミュニケーション(ベタンク・段ボールバスケット、ペットボトルボーリング、卓球他)、ストレッチ、作業と身体											
(週1回実施)	コミュニケーションII、殿プロ、姫プロ、仕事について、グループワーク、リズム体操、フロアホッケー(純菫、沖縄空手含む)											
(月1回程度実施)	フリープログラム活動(土曜日開催):4/18(7名) 6/20(5名) 7/18(2名) 8/8(4名)、8/22(4名) 9/12(3名)、9/26(2名) 10/24(2名) 11/7(3名) 12/5(7名)、12/19(4名) 1/16(6名)、1/23(5名) 2/13(5名)、2/27(6名) 3/13(4名)											
行事	8日(Bトレ、室内レク)				27日(室内スポーツ)							
(随時実施)	・防災訓練(避難確認)		・避難訓練 ・栄養管理講座		・健康増進センター	・健康増進センター	・健康増進センター	・栄養管理講座	・ITサポートPCグループ講習(Xmasカード、年賀状)	・健康増進センター(Zoom)	・健康増進センター	・音楽プログラム ・医療オンライン講演(仙台徳洲会病院) ・アップデートオンラインセミナー~プレインジムの理論と支援~
家族見学・講習会												
研修生 ボランティア等				・仙台ボランティアセンター	・宮城学院女子大学 (マリアージュ実習生)			・宮城学院女子大学(2名)				・宮城学院女子大学(2名)
会議、講習会、研修会等			・AKG ・サポネットあおば	・AKG ・よめごと会議	・AKG ・すりーはんず ・職場適応援助者サポート研修 ・なごやかネット	・精神保健福祉基礎研修 ・就業支援基礎研修	・宮城県高次脳機能障害者支援普及事業専門研修会 ・AKG ・すりーはんず	・ジョブコーチ支援事業推進協議会参加 ・AKG ・サポネットあおば ・よめごと会議	・トータルパッケージ活用セミナー	・宮城高次脳機能障害リハビリテーション講習会 ・AKG	・仙台市障害者福祉サービス事業所等集団指導 ・オンライン研修 ・AKG	・機能強化事業圏会議(Zoom) ・仙台市障害者自立支援協議会 ・仙台市地域リハビリテーション事例検討会 ・宮城県高次脳機能障害者支援普及事業専門研修会(Zoom)
その他				宮城障害者職業能力開発校委託訓練(7/8~10/7)→申込者なし				宮城障害者職業能力開発校委託訓練(11/6~2/5)→1名実施				

2020 年度 就労定着支援センターほっぷの実事業報告

1. 経過状況

2018年(平成30年)10月から開始し2021年(令和3年)3月末現在で合計18名を支援している。就労定着支援中の退職が4名、就労継続しているが支援終了(就労後3年6ヵ月経過)になった方が2名いて支援継続している方が12名いる。

2. 実施状況

2020年度、支援対象者が8名だったが年度内に新規で6名対応している。就労支援センターほっぷの卒業生がほとんどだが1名、相談支援センターほっぷの木で関わっている高次脳機能障害の方の支援も始めている。新規で対応した6名すべて就労(復職含む)時から企業とも関りがあり就労開始の際に最初の6ヵ月間の就労支援センターほっぷ(移行)でのフォローアップ、その後の就労定着支援センターほっぷの実(就労定着)での支援を説明しているのでスムーズな支援ができています。(ほっぷの木で関わっている方は他の移行事業所でのフォローアップあり)今後も就労時(もしくは面接時から)に丁寧な説明をしスムーズな支援を行っていきたい。

2020年度も1名が年齢や認知症状の悪化から退職している。相談支援(ほっぷの木)にも関わってもらい日中の活動先(就労継続支援B型)に繋いだ。もともと高齢者支援をしている事業所なので長く支援していただければと思う。

また2021年度になるタイミングで今までお世話になった上司の異動や本人の異動がある。今までの支援状況を共有しながら引き続き支援していきたい。

3. 他機関との連携

ほとんどの方が就労後、就労定着支援事業以外の福祉サービスの利用がないので企業担当者、ご家族としっかり情報共有を実施し、相談支援事業所が関わっている方には状況を共有し計画の見直しなど一緒に確認している。

今回のように年齢的に就労継続が難しくなった場合には退職後に在宅にならないように障害だけではなく介護サービスも視野に入れながら検討していきたい。相談支援や地域の資源を確認していきたい。

4. 会議、研修

2020年度はコロナウイルス感染拡大防止のため各種会議や研修会が中止になっている。仙台市や仙台市障害者就労支援センターが就労定着についての会議や研修会を検討しているようなので積極的に参加し他の事業所との情報交換を行っていききたい。

就労定着支援センターほっぷの実

管理者・サービス管理責任者

平山 昭江

2020 年度 TFU Cafeteria Olive 事業報告

2020年4月3日（金）夕方、東北福祉大学担当より連絡があり翌日4月4日（土）から大学全館が休館となった。4月はスタッフ、パートナー共に出勤し、片付や掃除、今後の取組について話し合いを行った。又、スタッフ全員と面談を実施。通勤に不安のある方、持病のある方から在宅での支援に切り替え、5月から全員在宅へと切り替えた。

在宅での活動として個々が取り組みたいことを中心に課題を提示し、現在も継続して取り組んでいる。エクセルやワードの基礎、料理やコーヒーの知識の習得。一般常識や漢字の練習、塗り絵等課題も様々。4月から今まで段ボール8個程の課題の記録となっている。又、体力作りの必要も感じ、土日の就労支援センターほっぷを利用し卓球やフロアホッケー、ボーリング、エアロビ、ヨガを11月まで実施。榴岡公園でバドミントン等の活動も行ってきた。

これまでスタッフが通所しレストランで活動することで給付費請求が認められていたが、コロナ禍の中、在宅支援が緩和され通勤が難しい状況であっても在宅で支援を行うことで給付費請求ができることとなった。又、大学が休館の為営業することができず、スタッフ及びパートナー一部に対して休業をお願い（指示）。雇用調整助成金の申請を行いスタッフ等への給与支払いの原資に充てることができた。

その他、持続化給付金、仙台市地域産業協力金、宮城県産農林水産物需要喚起事業補助金、家賃支援給付金、雇用調整助成金（毎月）等の助成金申請を行ってきた。

先の見えない中で、感染対策を講じ、目の前の事、やらなければならないことに必死に取り組む1年となった。

スタッフは仕事環境や生活環境が変わり、気持ちの変化もありながら、現在まで誰1人辞めることなく活動ができています。パートナーも日々の課題の提示、電話での確認、気持ちや生活に寄り添いながら支援を行ってきた。調理人も調理がほとんどできず、在宅支援や施設外就労（8月から株式会社MITUさんで畑作業）等でサポートしている。全てが新しい試みで大変なこともあったが、在宅支援での電話のなかで、スタッフと様々な話をする機会がありお互い理解を深める時間ともなった。

休業が長引き、在宅支援のみの環境を打開する為、また今後続くと思われるコロナによる売上への影響を考え、「みやぎNPOプラザ」で期間限定3年ではあるが「びすた〜り榴ヶ岡」を12月1日にオープンすることができた。オリーブと一体となった運営とし、スタッフ、パートナー共に行き来できる仕組みとした。

長町遊楽庵びすた〜りを閉店し、また「びすた〜り」としてオープンできたこと、引き続

き沢山のお客様に温かい応援をいただいていることはスタッフにとってもパートナーにとっても大きな励みとなっている。又、お客様にも喜んでいただきランチタイム12時過ぎは毎日満席となっている。今後も少人数でのコース料理の予約や、サロンコンサートなどを行いながら経営の安定とスタッフ、パートナーが共に、生き生きと働ける環境（雇用の場）を確保していきたい。

TFU Cafeteria live 管理者 菊田俊彦

資料 6

1. 収入

店舗売上 2020年度 オリーブ 350,960円
びすた〜り 2,914,318円(12月〜3月)
給付費収入 2020年度 31,376,030円
助成金収入 2020年度 35,946,196円

2. びすた〜りの運営について

2020年12月1日にオープンし、スタッフ1日4〜5名、パートナー3名で営業を行っている。びすた〜り勤務を希望するスタッフは12名(18名中)。在宅と組み合わせながらびすた〜りでの仕事に取り組んでいる。ランチタイムは客席23席に対して毎日30名程の利用があり、12時過ぎにはお待ちいただくことも多くなっている。客単価も950円程。毎日利用のお客様、リピーターが増えて来ている。店内での飲食の他に予約でのお弁当作り、オードブル作り、配達も実施している。

手作り料理、手作りデザート、美味しさと素朴さ彩りの良さが評価を得ている。

3. 料理提供について

急速冷凍機(ブラストチラー)、真空包装機等があるフードマーケットの調理場を土日に利用し、今後のセントラルキッチンを意識した取組みを行った。ハンバーグ、ビーフシチュー、カジキマグロ等を真空包装しびすた〜りへ納品。衛生的で、安定した美味しい料理をお客様に提供することができた。又、料理のストックがある為、忙しい時でもスピーディーに無駄なく対応することができた。日替わりランチ以外は真空包装された料理の湯煎作業の為、スタッフが関われる仕事が広がり、以前よりやりがいを持って仕事に取り組むことができる様になった。

オリーブ再開の際にはびすた〜りと連動したメニューとし、作業効率のよい仕組みと働きやすい環境を作っていきたい。真空包装した料理のテイクアウトの仕組みも作って行きたい。

4. 在宅支援の取り組み

令和2年

4月3日 4月4日より東北福祉大学の閉館、レストラン休業が決定。

4月4日〜スタッフ全員と面談。コロナウイルスへの不安の有無、今後の仕事内容の

希望などの聞き取り、在宅支援の説明を行った。

仙台市へ在宅支援サービスの体制に関する届出を行う。

4月中・持病があったり、通勤に不安の強いスタッフ

有給休暇を利用しながら自宅待機(2名)→4月下旬より在宅支援へ切替

・一般就労を目指すスタッフ

就労支援センターほっぷに「ほっぷ研修」として参加(3名)

→4月下旬より在宅支援へ切替

・その他のスタッフ(13名)→5月より在宅支援へ切替

Oliveにて調理場、ホールの清掃作業等

パートナーと共にびすた〜りフードマーケット・JhoJhoでの仕事

5月～ スタッフ18名全員が在宅支援での活動となる

<在宅支援>

Oliveでは9:30～16:30の活動。1日のスケジュールに沿ってこちらから提示した課題に取り組む。1日2回朝・夕2回の電話での体調確認や活動内容に関する連絡を行い、緊急時や困った時は随時対応。活動に関しての日報や支援記録の作成。月1回以上の通所で目標の確認や評価を行う。

例) 食事記録表、体力作り(ストレッチ、ウォーキング、運動等) 食材や調理、珈琲の知識、飲食店の知識や食事のマナーについて、レシピ作り、ハローワークインターネット検索、コミュニケーションについて、PCテキスト(Excel、Word、powerPoint)、自分の特性について、指先トレーニング(ハンコ押し、塗り絵、手芸等の作品作り)、苦手分野の勉強(漢字、数学、書字)、早口言葉、音読、手話、脳トレ等。積極的に動ける方は自主課題としてテーマを決めて取り組んでもらう。

5月下旬 Oliveでの面談を実施。感染予防に気を付けながら久々の通所での面談を行った。それぞれの状態を確認し通所に不安の強いスタッフは実施せず

6月～ 面談を月2回へ

7月～ 面談を月3回へ

在宅での活動も長くなり、身体を動かしたいスタッフも増えてきた。利用のない土日の就労支援センターほっぷや榴岡公園を利用し月3～4回10名程度に絞りながら「運動プログラム」を実施。寒くなる11月まで行った。

内容としては、ストレッチ、卓球、フロアホッケー、ボウリング、バドミントン、ウォーキング等

8月～ 施設外就労の開始

既に施設外就労に取り組んでいたフードマーケットに同行し、仙台市宮城野区蒲生にある「MITU」での畑作業を行うことにした。作業内容は堆肥まき、野菜の収穫、除草作業等。(10月までは週2回、11月以降は月2回のペースで5名が交代で参加。在宅支援での活動ではなく勤務として行う。)

長引く在宅活動で家にじっとしていられなくなるスタッフが増えてきており、広い畑で土に触れることが気持ちの安定をにつながるスタッフもいた。営業再開に備え体力作りの一環ともなっている。

10月～ OPEN 準備トレーニングの開始

調理場、ホールで午前・午後に各3名程のスタッフが来所(ひとり週2回程度) OPEN再開に向けて1~2時間、作業を行うことにした。在宅支援の枠での活動ではあるが、物の置き場を思い出したり、仕事の流れを思い出したりと、短時間だが定期的に出勤と同じような形をとることで在宅活動にもメリハリが出て来た。

12月～ びすた～り榴ヶ岡 OPEN

みやぎ NPO プラザ内に TFU Cafeteria Olive 従たる事業所としてびすた～り榴ヶ岡が OPEN した。

今後どういう働き方がしたいのかスタッフ全員に聞き取りを行った。

初回は10名のスタッフがびすた～りでの勤務を希望。調理場2名ホール2名での作業となる為、交代でシフトに入ることになった(週1~3回程度。勤務以外の日は在宅での活動) その後も働きたい気持ちが強くなったスタッフも随時シフトに加えている。

働く場所が出来、少ない回数ながらもお客様のいるレストランで仕事出来るようになった。働く喜びや、生きがい、生活リズムのメリハリ等、以前は当たり前過ぎて気付かなかったことに気付くスタッフも多く、みなイキイキとした表情で仕事に励んでいる。

R3.3月～ Open 準備トレーニングとして、週1回シェフ達による講座を開始。

在宅支援の取り組みも1年近くなり、動きや変化をつけて行くことにした。毎週火曜日2名のシェフ達が担当し、料理についての知識、調理実習、食に関する

る映画の DVD 鑑賞会を行った。スタッフ達の希望も聞きながら興味関心のあ
るものを選んでいく。季節の食材を使った調理実習では調理の手順だけではなく、
食材の歴史や文化などにも触れたり、レストランにおける働く仲間とのチ
ームワークを考えてみたりと、普段の営業の中だけでは得られない学びを得て
いる。

5. 職員研修

令和2年度就労支援基礎研修 令和2年9月23日(水)、28日(月)、30日(水)
農福連携当事者講座会 令和2年10月21日(水)

6. 健康診断の実施 1月、2月で実施

7. 避難訓練の実施 9月(大学合同で実施)

2020年度 びすた〜りフードマーケット事業報告

2020年度は、年度当初より、コロナウイルス感染防止対策をしながらのスタートとなった。フードマーケット、JhoJho それぞれで、スタッフが密にならないように、JhoJho は、出勤着替え後すぐにホールで待機、昼食時はアクリル板や時差を作り対応し、FM は時差出勤、朝、帰りのミーティングをなくし、それぞれの仕事場に出勤後すぐに入る形をとり、窓を開放し換気を行いながら過ごした。両施設とも、出勤前（家庭で）検温、手洗い、マスク、消毒液などの習慣付けを行い、感染対策を行った。始めはなかなか定着しなかったが、各家庭でも重要性を理解していただき、定着することができた。検温習慣がついたことで、コロナの感染への恐怖心などから、いつもより高めの時には、家庭で様子観察をするスタッフも多くいた（いつもだったら、出勤している程度の症状）。県内で緊急事態宣言が出されたことで、スタッフ全員5月に3週間という初めての在宅勤務という形をとった。グループホーム在住や配慮が必要なスタッフについては、そのまま通所の形をとったり（3名）、期間を短くしたり、個々に応じた在宅の形をとった。初めての在宅ワークで、課題と向き合い、新たな発見ができたスタッフもいたが、長い期間となると、ご家族の負担が大きくなるスタッフもあり、個別の対応の必要性を感じた。年間を通して、コロナが落ち着かず、皆、休みの日にも外出を最低限に抑えたり、いつものサークル活動がない状況で過ごしたりで、ストレスとなるスタッフもいたが、逆にゆっくり過ごせたスタッフもいて、仕事で疲れ表情がなく元気に過ごせたスタッフもいた。

スタッフの利用状況として、継続利用のスタッフ26名のスタートとなり。途中退所1名、3月末で退所2名（相談事業所と連携しながら生活介護へ利用替え）、1名は逝去（在籍という形をとっていた方）。在籍数25名となった。（下記表参照）在籍スタッフの内訳として、週2～4日出勤者が4名、他は全日出勤し、時間を短くしているスタッフもいる。

店舗、JhoJho の売り上げには大きく影響はしたものの、コロナ対策を行いながら営業することができた。特にJhoJho は病院様にご理解いただき営業できたことはありがたかった。（内容は各部署にて報告）。

びすた〜りフードマーケット
サービス管理責任者 伊藤敬子

【2020年度スタッフ在籍数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年平均 出勤人 数	
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		20.25
退所	0	0	0	1		0	0	0	0	0	0	3		
在籍 合計	26	26	26	25	25	25	25	25	25	25	25	25		
平均利 用人数 (月)	20	21.9	21.9	21.8	20.2	20	19.5	20.1	19.3	19.5	20.2	19.2		
退所内 訳				他施 設へ								2名31日 付け退所 他施設へ 1名逝去		

【2020年度3月末現在年齢別在籍数】

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	0	7	1	2	4	2	16
女性	0	5	2	0	1	1	9
合計	0	13	3	2	5	3	25

※新卒スタッフがないため10代の在籍が0。(2021年3月現在)

手帳の種別

手帳種別	人数
療育手帳(A、B)	19
精神保健手帳(精神疾患、高次脳機能障害)	6名(精2、高4)

びすた〜りファーム野菜(野菜、筍、筍ご飯の素)、惣菜他売り上げ。

	野菜 (店舗、Jho)	たけのこ	筍ご飯の素	惣菜 (店舗、Jho)	デザート (店舗、Jho)	ジャムなど (店舗、Jho)	漬物 (店舗、Jho)	オードブル他 特別注品
2017年度	¥469,584	¥65,290						
2018年度	¥446,765	¥235,580	¥21,200					
2019年度	¥373,061	¥171,540	¥30,400					
2020年度	¥266,410	¥156,090	¥48,050	¥278,630	¥140,600	¥37,600	¥104,410	¥89,000
備考				筍ご飯、冷凍総 菜を含む				はらこ飯、 お弁当含む

1. 【畑作業】

※スタッフの高齢化等に伴い、畑への参加スタッフ数減少も、能力の高い S 加入により改善傾向。(作業内容に偏りは出てしまうが) 機械使用頻度も高くなる為、より P 側の安全管理が必要となっている。S の機械使用は安全管理・理解力上難しい事が多い。又、機械使用に伴い、整備の必要性や保守点検費が高くなってきている。

※MITU (毎週木) の施設外就労 1 日 (11 時~15 時) 実施中。開始から 5 年が経過し、MITU 側からの要求も高くなってきている。現状はオリーブとの合同で対応し依頼に応じてはいるが、今後 S の状況で要求を満たせない時も有る事は常々 MITU 側にも伝えている。

① 栽培 (R2 年度野菜販売収益・作付け表は別紙参照)

お客様・調理場から需要がある定番野菜の収穫数は比較的安定。

栽培管理の簡略化の為、品種の限定を継続。少量ながらリクエストも受付。

令和 2 年: MITU への栽培委託 (じゃが芋) 行うも、全滅との報告有。代替品提供されるも、FM との販売価格差も有り、支払った 4 万円分を代替品野菜で回収はできなかった。その為、令和 3 年度は見合わせ。

JhoJho からの要望の多いレタスなどの通年収穫が昨年課題であったが、季節毎何度かの休止もあるが定期的に納品は出来た。

柳生大家: 守屋さん (果樹・葉物) 竹林大家: 國分さん (筍)

富田大家: 守屋さん (パセリ) 元 P: 小林さん (野菜)

農家山路さん (きゅうり他など収穫・入荷させて頂く。

又、近隣の畑の方へ声がけ行い、作りすぎた野菜などを適時収穫・入荷させて頂いている。

3 月から 12 月までは各畑作業。1 月~3 月までは竹林整備。

(5 月初旬は筍収穫 裏表有。R2 オリーブ補助有。マンパワーが増え助かった)

② 収穫

玉葱・じゃが芋などは問題なく収穫。R2: 7 月の長雨による被害や保管場所なども問題は依然有るも、調理場と連携し収穫・調理のバランスを取った。大根などの収穫も多く、収穫量の多い野菜は干すなどの加工 (例: へそ大根) も行い、無駄のないように使用。その為、残菜量も極端に減少している。

葉物も比較的順調に収穫。以前から栽培の苦手な、白菜・ピーマン・唐辛子など

は、0の収穫量ではないも、撒き時期などの遅れにより収穫量が少ない。

主な理由としては4月下旬～5月上旬のGWにて畑作業がストップすることにより種蒔・水やりが出来ない事と筍収穫との時期被りが遅れの原因。

MITU知り合い農家やMITUなどからの提供野菜もあり、その際には、大量仕入れとなってしまうが、調理場・バックヤードと連携を取りながら収穫・販売・加工行った。

2. 【店舗】

コロナ感染防止のため消毒液の設置、店担当者のマスク着用、店舗ドアを開放し換気をしながら営業を行った。

コンセプト

びすた〜りファームで収穫した農薬化学肥料不使用の美味しい野菜を提供、販売。

① びすた〜りファームでの収穫状況の確認

収穫した野菜を調理用と販売に選別、バックヤード調理場と連携しB品は調理で使用する。

② 店舗担当スタッフ

店舗の掃除、品出し、値付け、検品などお互いに得意なところを担当しながら行った。気持ちの波、疲れなどで休養を取りたい時には、2階で休むようにした。お客様との距離感等今後の課題。

③ 外販、移動販売

コロナの影響により、月1回のベネッセ(ディサービス)販売がなくなった。

木、金の引き売りは、外を回るため継続して行った。

イベント等はすべて中止や不参加だった。(不参加については、外販をすることで多数の方と関わりコロナ感染となった場合、通常の店舗、JhoJhoの営業に支障が出てしまうことが予測されたため)

④ 仕入商品

オーサワ商品

・送料値上げのため隔月の発注だったが、オーサワ商品を希望するお客様が定着してきたため、毎月発注に戻した。近くの方には配達を行った。(徒歩

や車)

戸叶農園さん

- ・色麻町から農薬不使用の野菜などを毎週配達していただいていたが、高齢となった事で、1月より定期の配達はなくなった。戸叶さんファンも多いため、連絡を取りながら、繋がりを持ち受け取りに行ったり今後も継続していく。

赤路農園さん

- ・いろいろな野菜の取引を継続。季節の野菜など連絡を取りながら納品継続。

⑤ 季節の商品

筍をはじめ、梅、柿、栗などお客様が定着してきた。ただ、収穫量が気候により希望に添えないことが多々あった(梅、柿)。セリはコロナの影響を農家さんが大きく受けており、農家直送の形で対応する形をとり、店舗に買い求めに来るお客様は減った。

⑥ 筍、水煮

表年で収穫量も多く、水煮での販売も売れ行きは良かったが、びすた〜り前での販売がなくなった影響は大きかった。その分、筍ご飯の素を製造し年度中で完売となった。

3. 【フードマーケット、JhoJho 厨房】

①料理について

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、当初の計画を変更し感染予防対策を第一に考えて作業を行なった。主な点として、ジョジョでの料理の提供方法がご飯、味噌汁のセルフサービスを取りやめ全て従業員が配膳する方法に変えた事と営業時間をランチタイムのみの時間短縮を行なったことである。そのためジョジョのパートナー、スタッフの作業量が増えることと、売り上げ減少が見込まれたため次のような対策を行なった。

- ・ティータイムに提供していたデザート類を取りやめ、ランチのサイドメニューとした安価で少量のミニデザートを作り販売した。このデザートはテイクアウトも出来る様な器で製作している。
- ・ランチメニューの中で個包装で真空冷凍できるものはジョジョとフードマーケットの店舗でも販売した。

- ・ジョジョの厨房の作業量を減らすため、パン粉付けなどの作業はフードマーケットの厨房で行う。
- ・予約限定での弁当とオードブルの販売。

ミニデザートについてはお客様にも好評で時折まとめて数個テイクアウトされることもあり、今後も常時季節に合わせたものを2、3種類の品物を用意できるようにしたい。

真空包装の料理の販売は肉や魚の主菜よりも漬物やジャムの販売が多く見られた。

弁当とオードブルの販売は今年度は身内だけでの販売としたが、体制を整えば外部にも積極的に販売していきたい。

② スタッフ、パートナーについて

昨年度から引き続き調理場では1名のスタッフが作業している。得意、不得意な作業がはっきりしていて苦手な作業の前後では周囲に当たり散らす仕草も見られるため出来るだけ得意な作業ができるように配慮している。特に包丁を使った野菜を刻む仕事は得意なので、口頭の指示だけで材料の切り揃えが短時間で出来るようになってきた。同類の作業ではこちらが手本を示せば新たな切り方でも積極的に作業している。

また、9月からは別のスタッフが週1回厨房での作業に取り組み始めた。主に野菜の皮むきと洗い物の軽作業ではあるが徐々に厨房内での環境に慣れつつあり今後作業日数が増えることを期待している。

昨年9月からパートタイムの職員1名をジョジョ兼任からフードマーケット専属に配置転換し作業効率向上に努めている。調理場で処理できる食材の絶対量が増えたことで、これ迄廃棄していた過剰の収穫物も調理にまわすことが出来るようになった。

昨年春の緊急事態宣言下ではスタッフ及びパートの職員は自宅待機をしてもらっていたが、その中でもジョジョを営業させるためにオリーブのパートナーに手伝ってもらいとても助かり感謝している。

4. 【バックヤード】

2階での作業に伴い、階段の上り下りに関しては危険性も考慮し、重いものはパートナーが、軽いものに関してはスタッフの運動能力に応じて持たない、もしくは買ひ物かごを利用し、空いている手で手すりを掴みながらゆっくりと昇降するように配慮した。

作業の際の準備、片づけ（椅子の片づけ、机の移動、ビニールシートの準備など）

も極力スタッフが自主的に進めるように心がけた。自発的に動くことが難しいスタッフに対しては最低限の声かけ、重いものを持つのが難しいスタッフには机拭きやシートたたみなどスタッフの特徴に合わせた支援を行うようにした。

- ① 収穫、仕入れた野菜・・・選別、計量、袋詰め、値札貼り付け作業など、スタッフを分担して作業を行った。

選別は大まかな選別から細かい選別まで、スタッフの能力に応じて流れ作業で担当してもらい、最終的にパートナーが最終チェックを行うよう心掛けた。

計量の重さが分かりづらいスタッフに関しては範囲を指定し、その数字をメモ用紙に記入して同じ数字になるように声かけした。バックヤードの作業に慣れているスタッフがほとんどの為、計量後に何をするかなど自分で把握しており、袋、値札などを自分で準備することが出来ていた。その為、パートナーに声かけする際も「何をすればよいか？」という受け身の問いかけから「～をしてもよいか？」や「値札はこれでいいか？」などスタッフから提案するような質問が増えてきた。自分から発信することが増えてきていることを評価しつつ、独断で進めてしまわぬよう、「ほう・れん・そう」が出来るように今後支援していきたい。

※セリ

選別作業に関しては昨年とほぼ同じスタッフが行ったので、根っこを乾燥させないなどの配慮を意識して行っていた。今シーズンは新型コロナウイルスの影響でいな穂さんからの注文量が少なく、納品に関しては三浦 F で選別済みのセリをそのまま届けた。そのため選別は販売用のセリを少量のみとなった。例年と比べ選別などセリの作業にかかる時間が少なく、且つセリ以外の野菜も少ない時期の為、野菜以外の作業（袋作り、簡単な事務作業など）を作り出し指示する必要がある。

- ② JhoJho 食材用野菜の下処理

野菜の皮むき、セリの根っこ切り等。選別や計量よりも好きなスタッフが多く、積極的に引き受けてくれた。必要な道具なども準備し、すぐに取り掛かることが出来ていた。今後の課題として、どうしても時間を気にせずマイペースで進めてしまうことが多いので、締め切りの時間に間に合うように取り組めるような支援を考えていきたい。

- ③ 内職作業・・・今年度はなし。収穫の切れ間などに比較的手が空くことが多いの

で情報を入手しながら検討していく。

④ 袋の作成

収穫物が多い時期などにはまとまった量を作れないため、野菜の作業が少ない時期に作りためをしておく。工程の最後まで折ることが難しいスタッフには工程を分け、途中の簡単な折り作業までを担当してもらうようにした。スタッフ毎に得意な工程があるため、それを活かして効率よく作っていくことができた。また、JhoJhoの売店で駄菓子を入れる紙袋作りも並行して行った。こちらも大きいわら半紙を切る作業から模様のハンコを押すところまで、それぞれの得意な部門を分担して行った。

⑤ その他

- ・在宅ワーク・・・5月に新型コロナウイルスの影響で自宅待機するスタッフに関して在宅ワークのお願いをした。スタッフ一人ひとりの力量に応じて課題を出し、朝夕の連絡を伴いながら自宅で作業をしたり、野菜の知識を深めてもらった。また、やむを得ず出勤せざるを得ないスタッフに関しては、感染症対策をしっかりと行っただうえで二階で密にならないように気をつけながら作業を進めてもらった。
- ・作付け用の種まき・・・今年度はなし
- ・外冷蔵庫掃除、駐車場草取りほぼ毎月、定期的を実施

4. 【C a f e J h o J h o】

新型コロナウイルスの感染拡大により時短での営業、スタッフの在宅ワーク、パート職員の自宅待機など、上半期はスタッフにとってもパートナーにとっても環境の変化が大きかった。在宅ワークでの変化、JhoJho勤務に戻ってもいつものパートナー（パート職員）ではなく応援に来てくれている慣れないパートナーだったり、変化に弱いスタッフは精神症状に影響してしまったりした。通常営業に戻ってからも職員家族のコロナ感染や濃厚接触の疑いなどにより出勤ができない期間があったが、オリーブパートナーに助けをいただきながら全員で力を合わせて過ごした1年だった。感染防止対策としてはアルコール消毒設置（入り口、持ち帰りカウンター、ホール中央）、席数を減らしテーブル配置の変更、ごはん・味噌汁のセルフサービスの廃止、対面シールド設置、お客さま入れ替えごとのテーブル・椅子の消毒、伝票記入用鉛筆の消毒、出入り口取っ手の消毒、空気清浄加湿器設置、換気、マスク

無しでの会話を控えるよう掲示と呼びかけを行った。休憩室も席数を減らし同時入室人数を調整、対面シールド設置、消毒液の設置、空気清浄加湿器設置、食事中以外のマスク着用の徹底を行った。更衣室利用も複数人での使用を禁止とし、適時消毒作業を行った。

検温は、自宅と JhoJho での検温をお願いし表に記入するほか、朝礼時にパートナーが検温し体調の確認を行った。

① 利用状況

通常時間での営業に戻っても利用客は減少したり少し戻ったりを繰り返した。常連客、病院職員の方々の利用はあったが、患者さんや会社員さんなど一般のお客様の利用が少なかった。1日で10,000～15,000円、食数にして10～20食くらい平均して売り上げが減少した。来店客は以前に比べ減ったものの、席数も減らしたため繁忙時間帯は席待ちのお客様が出る状況だった。また、消毒作業など以前よりも作業は増え、スタッフは常に忙しく動き回っている状況だった。

マスク着用なしで会話をするお客様（何度か声掛けを行った）と、注意するようにとのご指摘をされるお客様との板挟みになることもあった。

耳が遠かったり、何度お願いしても聞き入れてもらえないこともあったため目で見てもわかりやすくお願いを壁に貼ったり、入店時お席にお通しする前にお願いするようにした。このように以前よりもパートナー対応が必要な場面が多くなった。

はなみずき様入所の方々の売店利用は定着しており、¥100のバックジュースやお菓子、漬物など購入いただけた。食事利用の職員さんはクッキーや駄菓子（主にチョコレート）を購入していただく方が多かった。FM特製の各種味噌やタルタルソース、ジャムなどの販売も行った。また、小鉢などの総菜の量り売りや揚げ物の販売も続けた。「200円デザート」を充実させ、定着してきた。食事利用のお客様がほとんどなので、食事と一緒に頼める量と値段になったことでオーダーが増えた。テイクアウト用のデザートを準備し好評いただけた。

② スタッフの状況

7月に週4日勤務でパントリー作業を行っていたスタッフ1名が退所。

調理場で週3日勤務のスタッフ1名が勤務時間を5時間に延ばすことが出来た。

ホール週5日勤務のスタッフが週4日の勤務になった。

3月末現在、毎日出勤のスタッフが4名、週4出勤のスタッフが1名、週3出勤の

スタッフが2名、FMからの助っ人スタッフは増減なく4名である。

JhoJho スタッフで1名移行支援事業所への移行に向けて見学の活動を開始した。

スタッフ配置状況

	ホールフル	調理場フル	パントリー洗い物 12時～15時	FM助っ人 12時～13時
月	3	2	1	1
火	2	3		2
水	3	3		2
木	3	2	1	2
金	3	3	1	

安定して通所出来るスタッフ、目標日数通りに出勤がまだ難しいスタッフ、体調の変化があり休憩をするスタッフがいる中、任せられる仕事を増やせるように新しい作業にも挑戦した。一人ひとりしっかり力を付けることができた。出来る事が増えたことで負荷がかからないように繁忙時間帯以外は自分のペースで休憩の回数・時間を決めて無理のないように過ごしている。

JhoJho 在籍スタッフ一人ひとりの作業量増加やスピードアップはしているが、その分、休憩時間が必要になるスタッフも多かった。

また、週5日通うことが出来ない方、精神的な部分で体調が安定しない方もおり、FMのスタッフ・パートナーの力を借りなければ難しいのが現状だ。

現在パートナーが行っている作業をスタッフにお願いするためには作業能力の高さを求めなければならず、作業能力が高くB型に通所される方は安定して通うことが難しい傾向にあった。

では、作業の細分化を図り複数人で行おうと思うと人数が多くなり、今度はパーソナルスペースが必要なスタッフが混乱してしまった。

JhoJho スタッフの増員も課題ではあるが今後もFMスタッフの手伝いは継続してお願いしたい。

③ ホール・パントリー

ご飯・味噌汁のセルフサービスが出来なくなったためスタッフが配膳することが難しくなった。

カレーとう～めんは以前と変わらずホールの全スタッフが配膳出来る。
お肉とお魚はご飯・味噌汁がお盆に載った状態の配膳はホールスタッフ1名のみ配膳を任せられるようになった。近くのカウンター席から練習し最近では安心して任せられるようになった。車いす、手押し車、荷物の量、テーブルの上の状態などで配膳が難しいテーブルはパートナーが対応している。
パントリーでの洗い物は、担当のスタッフが休みの時はパートナーとホールスタッフで手分けをして作業している。
オーダー読み・食事出しとドリンク・デザート出しの作業は担当していたスタッフが退所してからはパートナーが行っている。スタッフにまたお任せできるようにしたいが現状では難しい。
繁忙時間外も、以前と比べ色々な作業をお願いしているため一人ひとりに合わせた息抜きを準備するようにしている。
外を歩くことでリフレッシュできる方にはフードマーケットに行って野菜や売店販売商品を持って来てもらう。
座って文字を書いたり色を塗ることが好きな方には、伝票の色塗りや値札切りなど。
一つの作業の継続が難しい方には何種類かの作業を準備し選びながら作業してもらった。

④ 調理場

メニューは変更なく、毎日日替わりの肉、魚セット500円、定番として、カレーライス、う～めん450円、う～めんダブル500円を提供している。
ランチ前の時間にご利用いただける「鶏がゆ」と「トーストセット」を開始し、検診などで朝食を食べていないお客様に喜んでいただけた。
単品でのご注文や、ソースなし、汁を薄めて、酢を付けて、細かく切って…など対応できる範囲でお答えすることが継続してできている。
ごはん味噌汁をよそう作業が加わったが、ご飯の量の指示が細かく味噌汁も多めの注文や、おかわりもあるため対応力とスピードが求められ、スタッフには難しくパートナーが対応している。
準備、盛り付け、計数、片付けなど一日の作業をスタッフが行えるようになったためお任せしているが、最終確認はパートナーが行った。
メイン料理の盛り付けでは、個包装になっているものはスタッフ1人でも盛り

付けが出来た。

大袋で計量しながらの作業は、種類が一つだと計量しながら盛り付けることが可能だが、複数種類が入っていると肉だけや野菜だけのように偏ってしまうため難しかったため FM と相談しながら出来るだけスタッフが作業出来るようにした。

スタッフの仕事として野菜の皮むきやカット作業を FM と連携しながら用意できるようにした。

衛生面に関しては、手洗い・消毒の習慣が出来てきており作業途中の声掛けでも出来るようになった。

同じ皿や箸を使ってしまうため、使い終わったものを置く場所を明確にして使い回しをしないように徹底した。

R2 畑年間工程表	×種まき			△ポット育苗			◇苗の定植			○収穫			※赤字は在庫・収穫種 緑文字は提供品			H30 3月5日作成(R2 6月1日改訂)			備考																					
	3月			4月			5月			6月			7月			8月				9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
畑全体	4/15〜 ハウス・河原肥料撤去 トラクタレンタル ハウス・河原			5/7 板橋さんか									×△草取り・水やり・畝作り						→			残菜切り替えし・土作り・農機具・ハウス等補修			抽苔(ちゅうたい) = トウ立ち															
種子・肥料購入							秋冬種子選定 購入			肥料購入															春夏種子選定 購入			R3 肥料購入おてんとさん 350株 ¥39916			3/17 約									
以下、R1から引き継ぎ&在庫種子																																								
ニラ(柳生・ハウス畑通年)三つ葉(柳生大家庭)	草取り・油粕追肥4/8			三つ葉○4/〜 ○4/6〜			三つ葉 除草剤			三つ葉 7/10 追肥									三つ葉柳生 ○			油粕追肥 (R2 10/19)																		
晩生甲高黄玉葱・赤玉葱(R1)													R1 9/6(赤)柳生3× 9/6〜10(黄)柳生3×			油粕追肥 (R1 10/10 10/29)			柳生3植え替え (11/13〜18)白(11/6〜12/) +粗糞・馬糞・油粕			赤玉			11/19追肥			R2 2/3 ◇追肥油 粕			油粕追肥 R2 3/18			本葉2枚株間2号液肥薄いの追肥草丈20号で 植替・条間25株間10号						
晩生甲高黄玉葱・赤玉葱(R2)	〜4/8 草取り・石拾・油粕追肥			花芽取り・草 取り			5/18〜○葉玉葱 6/8 黄玉○倉庫内干(浅利・山上 Pも対応)			6/9収穫2回目 6/10 〜12 倉庫干し(赤玉 含)						柳生2◇マルチ 黄(11/4〜6)11/17追 肥(植えてない苗も)			ハウス◇マルチ 板 橋提供黄(11/17〜)			ハウス◇マルチ MITU提供黄/赤 (11/30〜12/21)			12/9〜23 柳生・ 河原 追肥 補植用苗 埋戻し			ハウス・柳生2 追肥 3/5			3/24〜 柳生3三浦 家提供葉玉用×									
晩生甲高黄玉葱・赤玉葱(R3)																																								
じゃが芋(北あかり・メークイン各20号) ホームセンター購入 ※別途MITU作付け有	R2			mitu提供 5/8〜14 ハウ ス畝間× 5/12〜1 本立 唐辛子虫除け塗布(柳 生)			6/19石灰葉かけ			7/3〜22 北あかり○ クイン○			7/22〜8/7メ ー 柳生2マルチ×			MITUじゃがいも全滅報告有 代替品野 菜の提供有るも値段の折り合いつかず			R2 11/10〜12/21柳生2ジャガイモ さい						R2 柳生3 マルチ 浅植各20号。切り口上 向き→			3/31キタアカリ× 3/24メ ークイン×			畝幅60号・間隔25号。PH5.0〜6.0 切り口↑ 5号覆土									
じゃが芋(北あかり・メークイン各20号) おてんとさん購入	R3																								R3 柳生3 マルチ 浅植各20号。切り口 上向き→			3/24〜26 キタアカリ ×			畝幅60号・間隔25号。PH5.0〜6.0 切り口↑ 5号覆土									
タラの芽(三浦さん提供)柳生3端◇山椒◇				タラ 4/14○収穫後切 口灰付			竹林→柳生◇ 山 椒5/26			油虫有												根付×に、ルバーブ移植						2年目から収穫(ルバーブ)												
イタリアンパセリ(柳生2ハウス脇 29年〜残存有り)	草取り/植え 替え4/6			4/7加藤田さん切っ てしまう 4/8油粕追肥									草負け刈り取り																		30号5粒点撒・薄く覆土・本葉5枚で一本									
ルバーブ(自家種)河原29年〜残存 柳生タラの芽脇にも有(種子・多量も有り)							油虫有			7月草取り ○																					1年目は収穫しない。株間60号以上									
ヤーコン(R1柳生3で冬越)	3/24千田さん提供 柳生3端◇			mitu提供 4/24柳生2 端◇5/22補植			mitu提供 5/8 ハウ ス端◇			草取り						柳生10月〜○12/4 〜○ 12/7			ハウス12月			親芋保管方法確認 しっかり干す			3/31小林さん提供 柳生3◇			株間50号・畝幅80号・草丈80号												
もってのほか(食用菊)	H30 3/13 河原 端へ移動															開花せず																								
ケール(MITU提供)苗	R2 3/30追肥			菜花出る									R1 9/10柳生3◇			R1 10/29〜○												柳生3内植替 骨ハ ウス脇												
ニンニク(R1 8/19:カインズで購入)													R1 9/20柳生2×			9/30追肥			10/29追肥			11/19追肥			R2 2/3追肥			R2 3/23追肥			畝幅45号株間10号 10・12・2月追肥									
ニンニク R2 (R2 10/29カインズ購入 *400円×6)				R2 5/16芽○			6/3・6○収穫後 根 切・選別・干し			高いも比較的 売れ る 6/24すべて回収し 販売						11/2〜4 柳生2マルチ× 11/17 12/28追肥			ハウス 12/9〜25追肥 ハウス×12/22〜25			R3 3/5追肥			R3 3/16一本立 + 植え替え			畝幅45号株間10号 10・12・2月追肥												
ニンニク R3																																								
ササゴボウ	3/30追肥			5/27試○						6/8〜9/7○						柳生3ハウス脇 R1 10/10〜×												草取り			一昼夜浸水・連作×・畝幅60号・15号条撒き 草丈30号リン酸中耕・土寄せ									
紫蘇(自生)青・赤							自生植替6/8◇			6/16〜8月○			紫蘇実取 9月○																											
カブナ(自生種子)				R2 4/6トラクターで潰 す						6/30×柳生3			8/24〜○			R1 10/9柳生3×												○菜花含む												
分結ネギ/ネギ(柳生2・3)R1										柳生3端 R1 8/30◇						R1 10/12台風 浮有			苗 R1 11/6◇板橋家 提供									草取り												
" R2	4/7〜花芽取 取り			5/1MITU購入ネギ柳生2へ埋め戻し 他のネ ギも含め土寄せ			分結○5/25〜						8/17〜9/2 元 植替			分ネギ植え替え 9/8			埋め戻しネギ 10/1 〜○			ネギ苗10/16 液肥			油粕			ネギ苗12/9追肥			R3 3/9〜12 柳生 3◇									

	3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			備考				
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下								
小豆							発芽苗ハウス5/22◇				6/2~9×河原 マルチ				鳥除け糸外し6/30										11/10(柳生・ハウス) ~○	河原全滅										株間25 ^{cm} ・2粒 発芽適温 20~30℃・pH6.0~ 7.0 輪作年限 3~4年								
カボチャ(自家種子)	バターナッツ腐ったや つ 柳生柿↓廃棄			4/15柳生オートステイ 脇×												発芽無し																												
富城白菜(在庫種子)													柳生3×7/7				発芽無し	9/11×柳生3	10/12◇柳生3 10/16 油粕追肥				育たず													40 ^{cm} 間隔・ポッド/山路8月中頃に透明マルチ 使用。9月半ば◇消毒目的								
ローズマリー・セージ・タイム	ローズマリー柳生3端 へ定植			セージ・タイム花瓶 柳生									適時収穫																															
オクラ(R1残存種)花オクラ(R1残存種子)							オクラ ハウス 5/14 ×補植用苗作り5/22 ×	花オクラ△6/3 6/5柳 生3×				オクラ7/1~ハウス補 植×				8/1~9月○オクラは後に種用 花オクラ○~10/31										11/18~12/21種取 11/24花 オクラ種取							R3 3/16×				1昼夜浸水・50 ^{cm} 点蒔 月2回追肥							
以下、R2年度春夏種子																																												
八房唐辛子	4/1△柳生ハウス 4/3×柳生3			苗草取り			5/25◇柳生3・骨ハウ ス 直播芽出ず	6/1◇柳生3 6/17 油粕追肥				7/14柳生◇ 出 す ぎ植え替え																									第1花40 ^{cm} ◇・3本立・支柱必要							
つるありスジナン菜豆							柳生3骨ハウス5/15 ×							7/20~8/24○																									20 ^{cm} 間隔・3粒点撒・覆土2 ^{cm} ・へそし本葉2枚 間引・最終1本・支柱誘引					
早生スナップ豌豆(R2小林さん提供分有り)				4/1柳生3× 4/21 誘引竹作成			5/18 22 6/2 誘引 紐付	6/1~15○ 6/17 油粕追肥				7/1削除							R2 10/30×骨ハウス(小林P提供) 残 菜・穀殻使用										雪除け 12/16~3/8				R3 3/16×				一晚浸水・30 ^{cm} ・4粒点撒							
豊葉ほうれん草(秋冬含む)				4/7柳生2×			5/25柳生2×													9/18柳生2× 9/23柳 生3×																			微アルカリ性					
							トウ立ち4/7×分半分 漬5/25○終				5月×分発芽無漬																11/9~11/30○							柳生3 R3 3/16 26×				一晚浸水・条間15 ^{cm} ・間引・本葉3枚中耕追 肥・本葉5枚株間7 ^{cm}						
時なし五寸人参(秋冬 大型五寸人参)							柳生3 4/17×	水やり				5/25河原× 草取 り	7/20~柳生3○				8/5柳生3× (大型 五寸)	9/7で4月植○終 9/24×柳生3	8月分10/26~11/30 ○																			畝幅100 ^{cm} ・条間20 ^{cm} ・本葉5枚株間10 ^{cm}						
富士早生甘藍(秋冬:F1三期獲甘藍)				4/13柳生ハウス△			苗草取り	6/1◇柳生3 トンネル 6/2				6/17油粕追肥				収穫不可	9/11×柳生3	10/16油粕追肥																						育苗箱10 ^{cm} 筋撒・本葉4枚◇・畝幅60 ^{cm} ・株間 40 ^{cm}				
バターナッツ				4/13柳生ハウス△			5/14ハウス 苗草取 り後◇ 5/26 河 原◇	6/19~草取り・ 枯草 敷										9/18○河原	10/5ハウス○																						本葉4枚◇・株間60 ^{cm} ・条間150 ^{cm} 親づる1 本・子づる2本に整枝			
石倉根深太葱(秋冬含む)R2				柳生3 4/1~ 4/6×												柳生3 8/17 ~9/2◇	柳生3骨ハウス9/28 ×	骨ハウス 10/16油粕 追肥・穀殻										12/16植えきれず追肥・不織布対応							~2/2○				条間10 ^{cm} 筋蒔・40 ^{cm} 株間3 ^{cm} ・ 溝15 ^{cm} 立てかけ 2 ^{cm} 覆土					
石倉根深太葱(秋冬含む)R3																																												
サニーレタス(秋冬購入種子含)				3/31×柳生3			5/25×柳生2 5/27×柳生3	6/12柳生3×				7/7柳生3× (秋 冬)							9/24 柳生 2・3 ×																						一昼夜水浸・薄撒・覆土無し・日陰・本葉4枚 30 ^{cm} 定植			
大浦太ごぼう							5/27~29×河原																																					一昼夜水浸・連作酸性×・深さ80 ^{cm} ・畝幅60 ^{cm} ・15 ^{cm} 間隔・2 ^{cm} 収穫
サラダゴボウ(秋冬含む)				4/7~4/10 3×			柳生										柳生3 9/15~12/2○ R2 10/7柳生2(R3 8月○)マルチ×										11/17追肥													一昼夜水浸・畝幅60 ^{cm} ・15 ^{cm} 間隔・条撒・草丈 30 ^{cm} まで2回リン酸投与・中耕・土寄せ				
長型赤白20日大根(秋冬含む)				4/3柳生3×			5/18・25・29・1○	6/1柳生3× 6/12柳 生2・3×	7/13~○ 27日 柳生2終了				柳生3 9/15×液肥追肥 肥	9/24馬糞追 肥	10/16油粕追肥 ~ 10/26○																									株間2 ^{cm} ・2粒点撒・軽覆土・2 ^{cm} ○				
金賞早生(ピーマン)				4/13柳生ハウス△			5/15~苗草取り	6/1柳生3◇ 6/17 油粕追肥										8/17~10月末○																						△・第1花40 ^{cm} ◇・3本立・支柱立・初期着果 摘取・3節目以降着果○				
時なしかぶ(秋冬含む)				4/6~15 柳生2×+追 肥			5/29~6/2河原×	6/3 15追肥 ○柳生2・3	6/8 柳生3×6/12 間引・追肥	7/21~ 7/31河原○				9/15×追肥 柳生3 9/24馬糞追肥				10/16油粕追肥10/26~11/16○																						畝幅60 ^{cm} ・単条撒・株間15 ^{cm} ・肥料切らさず・ 直径8 ^{cm} ○				
チンゲン菜(秋冬含)				4/10~15 柳生3×									6/1~9○菜花							9/15×柳生3																						条間・株間15 ^{cm} ・草丈30 ^{cm} ○		
丸葉小松菜				4/15×柳生3			5/25○虫食い	6/8~9○	6/30×柳生3				8/1~31○	9/15 18× 柳生2・ 3				間引き 10/26~ 11/24○																						条間15 ^{cm} ・株間3 ^{cm} ・草丈20 ^{cm} ○				
摘み取り春菊(秋冬含む)				4/10~15 柳生3×			×	6/1~○花取含む	7/17~8月 徐々 に削除							9/15×柳生3																									条間15 ^{cm} 筋蒔			
ちぢみ菜(秋冬含)				4/10~15 柳生3×			×	6/8~9○										9/18×柳生2																						条間10 ^{cm} 筋蒔・間引き5 ^{cm} 間隔・追肥切らさ ず・15 ^{cm} ○				

	3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			備考
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
F1強健春太大根(秋冬合)							5/11~12 ハウス ×マルチ										8/3~24○	9/11柳生3× 9/24馬 糞追肥	間引き◇ 10/12 柳生3				10/16油粕追肥 11/25~1/18○												条間20 ^{cm} ・株間15 ^{cm} ・深さ3 ^{cm} 3粒1 ^{cm} 覆土・本 葉5枚で間引き1本で追肥					
バジル							5/26柳生3骨ハウス×									8/17~9/15○																					直播3 ^{cm} 覆土・間引き株間20 ^{cm} ・灌水			
白鳥枝豆							5/8ハウス×マルチ 紐 5/25撤去			鳥除							8/1~19○																					畝幅45 ^{cm} ・株間20 ^{cm} ・2粒撒・鳥除け		
真紅極早生金時(人参)秋冬含む							5/26河原×			6/12~草取							8/7柳生3× 9/24 馬糞追肥	9/14~河原○																			乾燥厳禁・本葉6枚15 ^{cm} 間隔			
金胡麻													6/30~7/1×柳生3				発芽無し							○													条間20 ^{cm} ・株間60 ^{cm} ◇・種子裂開開始後東わ て干して1w後に回収			
トウモロコシ(友人提供)										6/2◇ トンネル			鳥除	6/17油粕追肥				廃棄							○															
ヒマワリ(在庫種子)										6/5~8柳生2境×							廃棄							○																
茄子(黒鷲・京饅頭・大丸)MITU購入・提供										6/12柳生3◇				7/1~柵作り 7/13~ 14提供◇7/31油粕追 肥				8/1~○	9/24馬糞追肥							10月末倒す														
ピーマン(ニューエース・カリフォルニア)MITU										6/12柳生3◇										8/1~○	9/24馬糞追肥							10月末倒す												
ピーナッツ(千葉半立)晩成 MITU購入							6/12柳生3× 鳥除け紐付け			~15	7/3発芽悪く る				7/3発芽悪く る				土寄せ							10/16○														
以下、R2年度秋冬種子																																								
大丸聖護院大根																						9/11柳生3× 9/24馬 糞追肥				発芽少														
F1早生シャキ水菜																						9/18柳生2×				10/26~11/24○														
ラッキョウ(勝利P提供)																8/17~9/11柳生3端 ◇										10/16油粕追肥							R3 3/5追肥	3/8 草取り・ 土寄せ						
紅芯大根																						9/24×馬糞追肥柳生 3				10/16油粕追肥	11/18~間引き 植え かえ				1/25○小									
笹みどり絹さや																																		3/10×柳生3				一晚浸水・30 ^{cm} ・4粒点撒		
ビーツ																			柳生3×9/15追肥 9/24馬糞追肥							10/16油粕追肥													収穫不可	
梅・柿・柚子・菊芋(柳生大家さん)							R2 5/25~ 小梅○ 大梅○				柿等下刈り							R2 10/20 甘柿○	R2 11/2柚子○ 洗○	11/9甘・										~15日柿・梅剪定	柳生③端菊芋2/2◇							柿雑草が絡み実小		

名取竹林	3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			備考
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬				
たけのこ・フキノトウ●				← 整備 →			筍4/20 検査○				筍4/20~5/○				R2表年																			←			整備	→	● 燻炭作り	

2020 年度 相談支援センターほっぷの木事業報告

【状況】

月によって更新やモニタリング件数に波はあるが安定した件数を対応できるようになっている。この1年で新規対応は4件あり、相談者（ファイル）数が89件（実対応件数71件）まで増えている。色々なサービスを併用している人が増えているが、3月末までの当法人内相談者の内訳として就労支援センターほっぷ・ほっぷの実が4件、TFU Cafeteria Olive・びすた〜り榴ヶ岡6件、びすた〜りフードマーケットが13件、その他が48件となっている。

本人、ご家族の高齢化に伴いサービス提供事業所の変更や新たなサービスの追加を行うケースが増えてきた。また介護保険サービスとの併用など地域包括支援センターやケアマネージャーとの連携も増えてきている。

また今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定に反して訪問・面談を無理に行わないようにし、電話やメール、郵送など様々な方法で対応を行った。

1. 件数について

サービス終了の方を除くと71件のモニタリング面談と報告、更新に伴う利用計画案の作成を行っている（20〜30件/月程度）。必要に応じて計画外の面談や通院同行も対応しているので、予定の面談数よりも面談回数は多くなる。

計画に関わらない「サービス提供時モニタリング加算」についても各事業所訪問時に対応し請求している。（月上限39件）

※給付費に関しては収支表にて報告

2. 相談内容について

令和2年度は比較的安定したサービス提供の方が多かったが、B型からA型へサービスを変更したり、新たにヘルパーを申請したりすることが多かったが、コロナ禍でヘルパーの調整をすることが難しく移動支援等は、今も調整しきれていない。

また、ご家族や本人の体調不良等での対応等多く、介護保険サービスとの連携を密に行った。

現在、新規の相談に対応するのが難しくなっている。既に関わっている事業所をセルフプランで利用している方のサービス変更や追加のタイミングでご本人、ご家族、事業

所からの要望がある場合、月の対応件数などを確認したうえで対応していた。

まだまだ仙台市内ではセルフプランの方が多いので新規での計画について相談の電話が入ることが多い。すぐには対応できないことを伝え、内容を確認したうえで他の相談支援事業所を紹介している。

3. 他機関との連携について

71件のケースのうち7割以上が法人外の方になっているので普段から情報共有を行っている。面談で事業所を訪問した際には対象者以外の方の様子も確認している。介護保険サービスを利用する方も増えてきているので地域包括支援センターやケアマネージャー、デイサービスなど介護保険サービス事業所との連携も大切になってきている。障害福祉サービスと介護保険サービスとでは考え方が異なってくることも多いので行政も交えて丁寧な対応を行っている。また本人だけではなく高齢のご家族も多いので地域包括支援センターに相談するなど多方面から支援ができるように準備している。

4. 会議、研修について

コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度はあまり会議等の開催もなく、参加する機会も少なかった。情報共有できる場がないことで、相談支援に行き詰まることも経験した。色々な方とお話できる機会の必要さを体感することができた。今後も機会があれば相談支援の「質の向上」のため仙台市障害者自立支援協議会や各区自立支援協議会のネットワーク会議や研修に積極的に参加していく。特に計画作成の手法や各種サービスの活用法を学び相談者への対応に活かしている。またコロナ禍ではあるが、参加者との交流を積極的に行い「横のつながり」をしっかりと作り、色々な支援につなげている。また、現任研修にも参加し相談支援業務を継続していけるようしっかりと学んでいく。

相談支援センターほっぶの木
相談支援専門員 針生 里美